

令和6年度 わくわく園庭作りプロジェクト 1 学期号

わくわく園庭作りプロジェクトとは

園庭を「心や体がわくわく・ドキドキして思わず関わりたくなる場」にするために、5歳児が中心にアイデアを出し、子どもと職員が一緒につくっていくプロジェクトです。令和4年度から取り組みを開始しました。

令和5年度には、推進委員会を立ち上げ、下の図の「池作り」「植栽」「虫の呼び込み」「ごっこ遊び」「運動遊び」の5つの内容について、今取り組んでいることやこれから取り組みたいことを毎月一回検討しながら進めてきました。

令和6年度は、全保育者が5つのグループのいずれかのメンバーになって、園庭が子どもたちの「主体的な遊びの場」「豊かな経験をする場」になるように取り組んでいます。今年度の1学期中の取組の様子をお知らせします。

自然環境の充実			遊びの充実	
池作り	植栽	虫の呼び込み	ごっこ遊び	運動遊び

【池作りの取り組み】

池の名前をふあいと組の子どもたちと考えて“みんなのいけ”に決まりました。子どもたちからは、「みんなの いけ」と「たのしい いけ」の2つが候補に上がり、「池作り」の担当グループの職員みんなで検討して決定しました。

池の水が、4月の頃は土や砂が入って水が濁ってしまいました。そこで、池作りグループのホワイトボードを活用して、子どもたちに困っていることを伝えたとこ、砂を入れることもなくなり水がきれいになりました。同時に池への関心が高まり、メダカを観察したり、エサをあげたりする姿も見られるようになりました。

現在、チーム「池作り」の職員みんなで協力して池の周りを整備し、より良い環境にしようと努力しています。

昨年度の5歳児が市ヶ谷のフィッシングセンターで購入してきたメダカが3匹に減ってしまいました。そのことを聞いた3歳児長時間保育担任の中村先生が、家で大事に育てているメダカの稚魚と卵を7月中旬に園に持ってきてくれました。今は池に放すのにはまだ小さいため、5歳児の保育室で育てています。大きくなったら池へ放流する計画を進めています。今後もたくさんのメダカが泳ぐ池になるように、子どもたちとプロジェクトを進めていきます。

【植栽の取り組み】

4月・5月に園庭で子どもたちが草花を使って遊ぶ様子を見ることで、「植栽」担当のグループメンバーで園庭の植物の環境を見直しました。子どもたちは砂で作ったごはんに葉っぱやお花を摘んで遊んでいる姿が多く見られました。そこで、“もっとたくさんのお花や葉っぱを使って、たくさん遊べるといいな”と話合いました。

『お花や草、葉っぱであそぼう!』を目標に、“どんな花がいいか?” “どんな実がなるといいのか?”などをメンバー間で話し合い、マリーゴールドやヒマワリ・アサガオ・オシロイバナ・オモチャカボチャなどの苗を育てることから始めました。6月末には、プランターで育てた苗を園庭のハーブの隣と白い門の横の花壇に植えてみたのですが、この夏の暑さのせいか苗の育ちが十分ではなく、毎日水やりをしながら大きくなるのを見守っているところです。

2学期も花壇の手入れをしながら、いろんな遊べる植物を育てていきたいと思っています。「こんなお花があるといいな」や「こんな草や葉っぱがあるとこんな遊びができるよ」などのご意見を子どもたちや保護者の方たちからも集められたらと思っています。ご協力をお願いします。

【虫の呼び込みの取り組み】

園庭にたくさんの虫を呼び込みたい！園庭で新しい虫が見られるようにしたい！という目標で、「虫の呼び込み」グループの取組が動き出しました。

まずは園庭にどんな虫がいるのかを知り、みんなで共有することから…ということで、各グループの取り組み発信・情報共有のためのホワイトボードに園庭マップを掲示しました。そして、各学年・クラスに「こんな虫がいたよ」の情報を寄せてもらう依頼をしました。絵でも写真でも文字でもOK！「虫の呼び込み」のグループメンバーの職員を中心に、情報が集まってきました。

ぼうけん組はダンゴムシ製作の写真や見付けた「ヤスデ」の写真を掲示してくれました。また、「ヤスデ」を見付けた場所を示してくれました。名前がわからない虫を見付けたすくすく組は、実物大の絵をホワイトボードに書いて表してくれました。乳児部の職員は北の丸公園や靖国神社での散歩中に見付けた虫のこともお知らせしたい！とのことなので、今後マップを園庭だけでなく園周辺まで広げていこうかなと考えています♪

2学期も様々な虫を呼び込めるように、園庭の環境を整えていく予定です。「こんなものを用意したらこんな虫が来るかも！」など素敵なアイデアを保護者の皆さんからも集められたらと思いますので、ご協力をお願いします。

【ごっこ遊びの取り組み】

「ごっこ遊び」グループでは「ごっこ遊びがしたくなる園庭づくりを目指して」という目標を立てて活動しています。“お家ごっこやおままごとなどが充実するためには何が必要？”と「ごっこ遊び」グループのメンバーで考えたところ…まず、職員に協力を呼びかけて、本物のフライパンやまな板、おたまなどの調理器具をコーナーに用意しました。新しい物が増えていることに気が付いた子がそれらを使って遊び出す姿や、より本物に近いものが増えたことでイメージを広げて遊び出す子の姿が増えています。

保育室では積み木やつい立て、巧技台、カラーボックス等場作りのものが豊かにありますが、園庭でも同じように「場づくり」ができないだろうか？という疑問が出されました。そこで、「マルチパネル」という遊具を園庭の場作り用として使ってみることにしました。5歳児ふあいと組の子どもたちが担任と一緒に組み立ててごっこ遊びの場を作りました。作り終えると…3歳児ぼうけん組の子ども興味をもち傍で一緒に遊び出す姿がありました。場を作ったことがきっかけで、異年齢の関わりを楽しむことにつながったことをうれしく感じました。

2学期からさらに充実したごっこ遊びができるように、園庭のキッチン道具を整えたり、「マルチパネル」だけでなく、ゴザやシートを使って場を作ったりしていきたいと思います。その際に、どのような物があると楽しくなるかについて、子どもたちの意見も取り入れていく予定です。

【運動遊びの取り組み】

「運動遊び」のグループのメンバーで、園庭で使用しているボールや一人用縄跳びの数・傷み具合の確認と調整をしました。

それぞれの運動遊具に絵表示を付けたことで、どんな遊具があるのかわかりやすくなり、子どもたちが興味をもって手に取り、縄跳びやホッピングに挑戦する姿が増えました。片付けの際には絵表示を確認しながら使った物を元の場所に返し、自ら園庭を綺麗にしようとする姿も見られるようになりました。

今年度は園庭プロジェクトの取り組み発信や情報共有ができるように各グループでホワイトボードを作成し、園長室横の通路に掲示しています。運動遊びグループでは、上記に加えて具体的な遊びや新たに取り入れた遊具の発信にも活用していきます。職員だけでなく子どもと保護者の皆さんの意見も取り入れるためのツールにしたいと考えていますので、是非ご覧ください。

各グループの取組の様子をお伝えするホワイトボードを
園長室と職員室の間の廊下の壁に掲示しています

保護者の方も是非ご覧ください！！



※ホワイトボードは、こんな活用をしています。

例えば、「池作り」グループの職員から、次のような呼びかけがありました。

“池に石や土を投げ入れると、水が濁ってメダカが弱ってしまう！”



この内容の書かれたホワイトボードを、幼児部の各クラスに回覧していききました。
各クラスの担任が、ホワイトボードの内容を子どもたちに伝え、子どもたちのつぶ
やきや意見を「池作り」グループの職員に伝えました。



石や土を入れる姿が見られなくなり、水がきれいになりました。

＝このことをまたホワイトボードで知らせました。

※このように応答性・循環性のあるホワイトボードになるようにしたいと
考えます。